

**令和5年度 福井市の認定こども園、保育所等における質の向上のためのアクションプログラム vol. 3**  
**No.103 西部保育園**

カテゴリー		園での取り組み (具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)	年度末達成度 (◎・○・△・×)	備考
I 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1) 指針と照らし合わせながら、子どもの学びの姿や育ちについて月案会議を通して職員間で共有する。	(1) ○	子どもの姿を指針と照らし合わせて、子どもの学びの姿を学び職員間で共有することができた。
		(2) 自己評価を実施し、教育・保育の質の向上を図る。保護者アンケート・園評価を実施し次年度に活かす。	(2) ○	自己評価を実施し保育の質の向上を図ることが出来た。また、保護者アンケートを参考に次年度に活かしたい。
		(3) 保育カウンセラー訪問時にアセスメントシートを基にケース検討を行い、よりよい関わりを学び実践する。	(3) ◎	保育カウンセラーで、関わり方を学び、実践に活かすことが出来た。
		(4) 室内外の安全点検や消毒を行い、子どもの健康支援及び安全確保する。	(4) ◎	安全の為にフェンスにネットをはったり、職員間で共通理解したり、安全面に配慮した。
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5) みあいっこなどの園内研修を充実することにより、職員間で学び合いを行う。	(5) △	みあいっこでは同じクラスを継続的に見ることで学びがあったが、計画通りいかなかった。
		(6) 施設長自ら積極的に研修に参加し、職員と共に保育の専門性を高めていく。	(6) ○	積極的に研修に参加し、専門性を高められるように努力をした。
		(7) 職種や経験年数等、個々に応じた研修の情報提供を行い、計画的に参加できるようにする。	(7) ○	全職員、年1回以上研修を受け、質の向上に努めることが出来た。
II 子育てライフを支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8) 個人懇談や送迎時に保護者と対話する中で、育児相談の充実を図ったり、情報を提供したりする。	(8) ○	年2回の個人懇談実施、送迎時の丁寧な保護者対応に心がけ、育児相談に応じる事が出来た。
		(9) 就学に向けての情報共有や気がかりな子の個別計画に基づいた家庭との連携の推進に努める。	(9) ◎	就学に向けて個別に懇談を行い必要な情報は、小学校や家庭と連携するように努めた。
	地域子育て家庭への支援の充実を図ります	(10) 園開放を計画的に実施し、育児相談の場を持つ。	(10) ○	随時育児相談にのり、一緒に悩みを共有しながら、手立てを考えるように努めた。
		(11) 一時預かりの受け入れの実施を行い、地域子育て支援を行う。	(11) ○	必要に応じて、一時預かり児の受け入れをし、子育て支援を行うことが出来た。
		(12) 園開放や行事への参加を呼びかけ、育児相談や援助の場を持つ。	(12) ○	年10回の園開放を設け、参加した保護者の育児相談にも丁寧に対応できた。
3 多様な連携と共同を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します	(13) 支援の必要な児や保護者に対し、言葉の教室、健康福祉センター、療育センター等専門機関の情報提供や連携した支援を行う。	(13) ○	個別に懇談の場を設け、情報提供や支援に繋げていった。
		(14) 湊地区の公民館や児童館との情報交換を図り、連携していく。	(14) △	地域との連携を図る場への参加が十分に出来なかった。
		(15) 保育カウンセラー、小学校の特別支援コーディネーターおよび特別支援学校教諭との連携を図り、スムーズな就学へとつなぐ。	(15) ◎	個別に場を設けながら、就学への支援を行えるように努めた。
		(16) 園開放や連携会議をする中で、地域の未入园児にあそびの場を提供していく。	(16) ◎	夏祭りや、人形劇、遠足など地域の方に参加してもらうことが出来た。
	地域の教育・保育機能を強化します	(17) 地域の民生児童員と情報を共有し、地域の子育て環境の実情を把握すると共に必要な支援につなげる。	(17) ○	民生児童委員と定期的に情報交換をすることができた。
IV 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(18) ボランティア、教育・保育体験の受け入れを積極的に行う。	(18) ○	看護学生の実習の受け入れを行った。
		(19) 人形劇、夏祭り、運動会などの園行事に地域の方に参加してもらい、園児や保育士との関りの場を持つ。	(19) ○	人形劇や、夏祭りに地域の方に参加してもらい園児や保育士との関りの場を持つことが出来た。
	子育て文化につながる活動を広げます	(20) 様々な行事や園開放を通して、園の保護者や地域の子育て中の親との交流の場を持つ。	(20) ○	ミニ講演会、クラス懇談会などを開催し、子育て中の保護者の情報交換の場が持てた。
		(21) 夏祭り、秋祭り、文化祭など様々な地域の行事に参加し、交流を図る。	(21) △	参加を予定していたが、感染症、熱中症予防等の為参加できなかった。参加の形を考えていきたい。
V 安心して子どもを 生み育てる支援づくりを進めます	子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます	(22) 研修等で社会の動向に伴う保育所の役割やニーズ等について学び、職員間で学び合いの場を持つ。	(22) ○	日常的にこまめに話し合いをし、保育所の役割やニーズについて学びあえた。
		(23) 保育研究大会に参加し、これからの乳幼児の教育・保育制度に関する意見交換や学び合いを行う。	(23) ○	研究大会に参加した職員から報告を受け皆で学びあえた。
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(24) アクションプログラムに基づいた活動計画案の作成と実施及び評価を行う。	(24) ○	アクションプログラムに基づき子育て支援を進めることができた。

《園での取り組み》 24のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取り組みを記載する。

《達成度》 ◎：当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○：計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。 △：不足する部分や問題があった。 ×：目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。